

御池野鳥の森

御池野鳥の森は、霧島連山の東部に位置する 115 ヘクタールの鳥保護区です。この森には多くの留鳥と渡り鳥が生息しており、多くの種にとって重要な繁殖地です。

野鳥に加え、保護区は、シカ、イノシシ、ニホンアナグマ、コテングコウモリをはじめとした哺乳類やその他の野生動物の楽園でもあります。

イチイガシ、カゴノキ、タブノキ、ホオノキなど、森にそびえ立つ木の中には高さ 20～30 メートルに達するものもあります。ツバキのような小さな木やかやのような針葉樹もたくさん生育しています。

下草に豊富に生えている野生のキノコには、通常は発光性なのに、なぜか霧島で成長するときだけ光らないハラタケ科のアミヒカリタケや、鮮やかな黄色の網に包まれているスッポンタケ科のウスキキノガサタケ、宮崎県以外ではめったに見られない「南の分解者」ハマキタケ、そして、夢幻的なイヌセンボンタケなどがあります。これらのキノコは、品種に応じて 6 月から 11 月までの間に森で見つけられます。